

官民協働の避難所運営

- 1 目的 平時からどのように取組みを進め、災害発生時にはいかにして命を守ることができるのか、避難所生活においてそれぞれのニーズに応じた生活が送れるよう、どのような対策を行うべきか考える。
- 2 対象 全職員
- 3 定員 48人
- 4 日程 令和5年7月20日(木)
- 5 会場 高知県自治会館2階 こうち人づくり広域連合研修室(高知市本町4丁目1-35)
- 6 持参物 職場でお使いの名札

カリキュラム		時間	講師
9:00	1 市民目線の避難所運営 ・発災直後の状況と感じたこと ・協働の底力	6.0	一般社団法人 「陸前高田被災地語り部」くぎこ屋 代表 釘子 明(くぎこ あきら)
16:00	2 行政目線の避難所運営 ・発生直後の状況と感じたこと ・行政の限界と官民協働の必要性		岩手県陸前高田市 防災局防災課 防災課長兼防災対策監 中村 吉雄 (なかむら よしお)

<担当者から>

日頃、南海トラフ地震対策に取り組んでいる自治体職員にとって、「官民協働の避難所運営の必要性を地域住民にどうやって伝えればよいか」というのが悩みの一つではないでしょうか。

本研修では、実際に被災地で一般市民として避難所運営を経験した釘子氏と被災当時を知る陸前高田市職員から、市民行政それぞれの立場のお話を聴き、避難所運営を進めるポイントやヒントを学び、官民協働による避難所運営の実現を目指します。

こうち人づくり広域連合 担当:河原 加奈
高知市本町4丁目1-35 高知県自治会館4階
TEL : 088-873-0333
FAX:088-872-7716
E-mail:kouiki@kochi-hitozukuri.or.jp
HP : <http://www.kochi-hitozukuri.or.jp>